

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成22年8月分)

ご協力ありがとうございました。平成22年8月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 168社 回答 157社 回答率 93.5%

調査項目	前 月 比					計	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況		10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	
売上数量	7社 4.5% (12.9)	16社 10.3% (18.1)	47社 30.1% (34.8)	44社 28.2% (22.6)	42社 26.9% (11.6)	156社	25社 16.6% (19.5)	17社 11.3% (10.1)	38社 25.2% (28.9)	33社 21.9% (19.5)	38社 25.2% (22.1)	151社
売上高	7社 4.5% (10.9)	16社 10.2% (18.6)	49社 31.2% (35.9)	44社 28.0% (23.1)	41社 26.1% (11.5)	157社	31社 20.5% (22.5)	17社 11.3% (10.6)	33社 21.9% (24.5)	31社 20.5% (19.2)	39社 25.8% (23.2)	151社
在庫数量	4社 2.7% (2.7)	22社 14.9% (16.8)	73社 49.3% (49.7)	36社 24.3% (26.2)	13社 8.8% (4.7)	148社	8社 5.6% (7.6)	17社 12.0% (11.8)	48社 33.8% (36.1)	34社 23.9% (20.8)	35社 24.6% (23.6)	142社
販売単価	2社 1.3% (2.0)	16社 10.5% (19.9)	95社 62.5% (51.0)	35社 23.0% (25.2)	4社 2.6% (2.0)	152社	15社 10.2% (9.7)	39社 26.5% (29.0)	48社 32.7% (29.0)	32社 21.8% (21.4)	13社 8.8% (11.0)	147社
収益状況 (粗利)	5社 3.2% (3.9)	10社 6.5% (8.4)	67社 43.2% (49.4)	45社 29.0% (26.0)	28社 18.1% (12.3)	155社	24社 16.0% (17.4)	22社 14.7% (16.1)	46社 30.7% (28.9)	33社 22.0% (22.1)	25社 16.7% (15.4)	150社
稼働率 (生産・加工設備)	2社 1.7% (1.7)	11社 9.1% (14.3)	49社 40.5% (50.4)	38社 31.4% (25.2)	21社 17.4% (8.4)	121社	15社 12.9% (11.3)	13社 11.2% (18.3)	46社 39.7% (34.8)	20社 17.2% (19.1)	22社 19.0% (16.5)	116社
入出庫の トラック台数	2社 1.4% (0.0)	7社 4.8% (14.2)	65社 44.8% (57.4)	45社 31.0% (20.3)	26社 17.9% (8.1)	145社	10社 7.1% (7.0)	23社 16.3% (16.9)	56社 39.7% (41.5)	27社 19.1% (19.0)	24社 17.0% (15.5)	141社
	現在の景況感					147社	3ヶ月後の景況予測					138社
	0社 0.0% (0.6)	3社 2.0% (2.6)	36社 24.5% (32.5)	46社 31.3% (27.9)	62社 42.2% (36.4)		1社 0.7% (0.7)	11社 8.0% (7.2)	70社 50.7% (29.6)	43社 31.2% (28.3)	13社 9.4% (34.2)	
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査(8月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 前月同様の商況の中、薄板、メッキ品の値上げに注力するも、実需が弱くユーザー側も当用買いの姿勢が変わらない。市中在庫、他社動向も気になるところだが、円高や原材料の値下がり等、相場を押し上げる要因は弱いと思われる。軽量下地工事、鉄筋工事、板金工事業等の建築関連の現場では、ワンコイン職人(時給 500 円)などと呼ばれているほどの施工手間でしか受注できない状況も見聞きされ、与信面での不安要素が高まっている。
- ② 全体的に値下げ傾向ボンデ定尺は@90/k g を切る価格が出て来ている。弱含みになっている。
- ③ 建築関係需要回復の足取りが重く、円高の輸出への影響も加わり、荷動きが鈍い。早急な円高是正は期待できず、海外生産へのシフトが加速され、国内需要減退の影響を懸念せざるを得ない。
- ④ 建材向けの荷動きは最悪の状況で、相場は弱含みに転じている。安い売込みが多く見られ、在庫原価が高くなっている流通の採算は赤字が常態化している。早急なメーカーの価格対応をお願いしたい。
- ⑤ まだら模様の景況感の中、販売低迷を受け、三品在庫は漸増し、先行き相場が不透明。契約を含めた在庫対応だけでも苦悩が増える。
- ⑥ 前月比では増加であったが、景気としては円高等の状況下でもあり、好転するとは思えない。
- ⑦ 今後の予想としては、あまり変化はないと思う。

中板

- ① 7月の販売量は前月比大幅減少となる。東鉄の値上げ発表があったが市況は変わらず、逆に中板の安値販売競争も目立っており、価格が折り合わず、引合いを逃すケースが多々あり、販売減の大きな要因と考える。高炉のコイルが入荷している中、採算割れの商売が続いているのが現状だ。景気回復の期待は、今後も持てず、また、円高による輸出の動向は不安要素が多く、きびしい局面は長期間続くと予測する。在庫調整の目処は立っているが、採算確保は当面難しい環境と予測している。

厚板

- ① 山積み状況は前月比ほぼ横這いであるが、橋梁関係はかなり少なく、一方で鉄骨は複数の物件が同時に進捗しており、数量的にはさほど多くないものの短納期品が多く、工程的には逼迫している。橋梁関係は、当分増えることは期待できず、鉄骨、土木関連で加工賃を積み上げていかざるを得ない状況である。価格面では、高炉メーカーの値上げはあるもの、建設関連の状況がまだ低調であるため、切板市況も上昇力が弱く、横這いの状態である。

—舟安开金岡

- ① 今月は、前月比4日営業日減であったが、各指標は微減で済んだ。一日あたりの各指標は前月よりも向上している。6月がボトムで回復傾向がうかがえるので来月が楽しみだ。小規模な民間、公共機関の建築需要が一部発注されたためであろう。しかし、回復傾向にあるとはいえ、現状では決算が出来ない。更なる需要回復を望む。

EH开金岡

- ① 電炉メーカーの9月積み値上げで、下値が間違いなく切り上がった。しかし、実需が伴わず、市況上昇には現在至っていない。今後、値上がり分が入荷するので、早めに市況UPを目指さないといけない。
- ② メーカー販値値上げにより、下値が切りあがったが、上値と下値の差が大き過ぎて市況は上昇していない。需要の少なさやメーカーの発信力の弱さ等で強気になれない面がある。

平金岡

- ① 売れ行きは芳しくない。単価も物件により、まちまちの状態だと思う。

金岡管

- ① 全く動きなし、低調な商売が続いている。

異形棒金岡

- ① 建設不況である。
- ② 東鉄の1円/kg上げ直後から物件のひどい安値は消えた。しかし、9月に入っても小売値に変化もないし、物件等は7月比2倍の明細が入ったとのことだが、今までの未手配と近々の分という感じで、あまり変わってはいない印象である。次の東鉄の発表待ち。

構造用金岡

- ① 店売りを中心とした動きは、建機に加え工作機械も緩やかに回復して来ている。ただし、8月は社稼動日数減により前月比減少となった。(約10%)メーカーの店売り値上げ(一次)に伴う再販価格の引き上げは、8月に入りほぼ浸透した。紐付きについては、自動車・建産機関連は堅調であるものの、秋口に向け不透明な状況である。

その他

<曲げ加工>

- ① 曲げ加工としては受注量が少なく、単価が安い。今なお不況である。今後しばらく続きそうである。

<切断加工>

- ① 短納期の状況である。

<金属表面処理加工>

- ① 8月の紐付き材は計画通り。物件物は客先の納期調整による次月持越し等により予定数量よりやや減少となる。スポットは引合い、受注とも低調。9月以降も紐付き、物件物とも確定していることから、安定操業で推移する予定である。